

## ＜気象庁の気温計測方法＞

国土交通省 気象庁 Japan Meteorological Agency

› ENGLISH › Other Languages 文字サイズ変更 標準 大

› 気象庁 防災情報 気象庁 Google 提供 検索

ホーム 防災情報 各種データ・資料 地域の情報 知識・解説 各種申請・ご案内

ホーム > 知識・解説 > よくお寄せいただくご質問 > 観測機器について

### 観測機器について

- 降水量はどのように観測しているのですか？
- アメダスが設置されていない場所での降水量は、どうしたらわかりますか？
- 気温はどこで、どのように計測しているのですか？
- 気象レーダー、ウインドプロファイラ、ラジオゾンデとは何ですか？
- 低い雲が広がり、時々細かい雨が降っていますが、レーダーに映らないのはなぜですか？
- 高解像度降水ナウキャストやレーダー画像でリング状の強い降水域が見えますが、何ですか？

### 気温はどこで、どのように計測しているのですか？

気温の観測は、風通しや日当たりの良い場所で、電気式温度計を用いて、芝生の上1.5mの位置で観測することを標準としています。また、電気式温度計は、直射日光に当たらないように、通風筒の中に格納しています。通風筒上部に電動のファンがあり、筒の下から常に外気を取り入れて、気温を計測しています。

#### 通風筒（この中に電気式温度計が入っています）



国土交通省気象庁ホームページより

(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/faq11.html>)